



優しい風の吹く街



立憲民主党 枝野幸男代表と 11月23日 神戸

新しい年がスタートしました。
ふりかえってみると10・11月の私は、全国市議会議長会関連の各会議や研修で全国を飛び回る日々でした。どの研修においても「全国的な流れや他市からの情報を得ることが本市の施策に活かす事につながる」との思いで、しっかり学んできました。

また、春までの議長任期中に「議会改革」と「出産や育児に関わる諸制度」を整えるため準備を進めています。

宝塚市の2019年は、中央公民館のグランドオープンや手塚治虫記念館リニューアル、(仮称)文化芸術センターの工事などがあります。市民のより良き「学びの場」としての発展を望み、見守っていきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

活動報告 ～抜粋～

- | | | | |
|-------|-----------------|-------------|---------------------|
| 10/ 7 | 市民交通カーニバル | 11/ 7 | 看護専門学校戴帽式 |
| 7 | 赤い羽根共同募金活動 | 8 | 社会福祉大会 |
| 8 | 市民大運動会 | 9 | ひょうごヒューマンライツ議員の会 |
| 12 | 暴力団追放少年非行防止市民大会 | 12 | 全国市議会基地協議会(東京) |
| 17 | 国際交流協会30周年記念式典 | 13 | 商工優秀優良従業員表彰式 |
| 19 | 近畿市議会議長会理事会(京都) | 16 | 宝塚市総合防災訓練 |
| 20 | 部落解放研究兵庫県集会(神戸) | 17 | 協力雇用主会「アトムの会」設立総会 |
| 25 | 花のみちライトアップセレモニー | 18 | ローカルマニフェスト関西勉強会(大阪) |
| 26 | 中山寺晋山式 | 19 | 兵庫県市議会議長会正副会長会(宍粟) |
| 27 | 心の教育講演会 | 25 | 宝塚市消防団消防操法大会 |
| 31 | 兵庫県市議会議長会研修会 | 25 | 視力障がい者協会総会 |
| 11/ 1 | 宝塚市環境衛生大会 | 26 | 国と地方の協議特別委員会(東京) |
| 2 | 宝塚市戦没者追悼式 | 29 | 兵庫県戦没者のじぎくの塔追悼式(沖縄) |
| 3 | 西谷収穫祭、品評会表彰式 | 12/22 | 宝塚懇50周年クリスマス会 |
| 3 | 補助犬シンポジウム | 23 | 宝塚ハーフマラソン |
| 6 | 技能功労者表彰式 | 11/20~12/25 | 12月市議会 |

11/20~12/25

12月定例市議会

<可決した主な議案>

- 127号 旧安田邸の管理運営者を決める委員会設置
- 134号 福祉医療費助成に関する条例一部改正
(未婚のひとり親について寡婦控除みなし適用実施)
- 138号 市立(仮称)文化芸術センター工事の一部変更



11/14 11/15

第13回全国市議会議長会研究フォーラム

宝塚市議会からは市民ネット宝塚の寺本早苗議員と私の2人で参加しました。

第1部<全体会・基調講演>

演題：「地域共生社会をどうつくるか、2040年を越える自治体のかたち」

講師：宮本太郎さん（中央大学法学部教授）

『日本人の半数が107歳まで生きる時代となり、定年は中継点でターニングポイントとなる。しかし、なぜ幸福感が広がらないのか。「支える」「支えられる」の二分法では「重量挙げ」社会となって無理が生じる。これからの地域づくりの新しい目標は「地域共生社会」である。制度・分野ごとの縦割りや、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域の多様な主体が「我が事」として参画し、地域をともに創っていく社会を目指したい。』

第2部<パネルディスカッション>

テーマ「議会と住民の関係について」

<コーディネーター>

- ・江藤俊昭さん（山梨学院大学大学院 研究科長・法学部教授）
「信頼され魅力ある議会の創造」「住民自治の推進」「議員のなり手不足解消の正攻法」を提言。

<パネリスト>

- ・今井照さん（地方自治総合研究所）
自治体政治の総量をあげる提案。
- ・本田節さん（食・農・人総合研究所）
エコノミーとエコロジーが調和した地域づくりの提案。
- ・神田誠司さん（朝日新聞記者）
先進的な議会改革を取材。
- ・小林紀夫さん（宇都宮市議会議長）
新たな議会のあり方提言。

第3部<課題討議>

<事例報告者>

- ・桑田鉄男さん（久慈市議会副議長）
- ・伊藤健太郎さん（新潟市議会議員）
- ・ピアンキ・アンソニーさん（犬山市議会議長）
- ・道法知江さん（竹原市議会議長）



ピアンキ・アンソニー
犬山市議会議長と

久慈市議会の「議会じえじえ基本条例」と「かだって会議」。基本条例は前文が方言。かだってでは久慈地方の方言で、①語る②一緒にやる。敷居が低くて楽しい議会報告会だそうです。新潟市議会は高校へでかけての主権者教育。犬山市議会の「市民フリースピーチ」は平日夜または日曜日開催。竹原市議会は「女性の視点と議会」。どこの取り組みもおもしろくて興味津々で聴きました。

10/11

議場での体験学習

宝塚市立高司小学校6年生が議会に社会見学に来てくれました。前半は、議場で市当局席と議員席にわかれてのディベートが行われました。そして後半は、私から議会のお話をさせていただきました。

- 市長と議会がどちらも市民によって選ばれる「二元代表制」
- 条例については「自転車の安全利用に関する条例」
- 政策については「子どもの権利サポート委員会」「公民館」「ありのままに自分らしく生きられるまち宝塚」「バリアフリー」「自然環境を守る」「ワークライフバランス」など

最後に子どもたちからの意見をいっぱい聴かせてもらって終了。駆け足でしたが、ある子が帰り際に「わかりやすい説明でした。ありがとうございました。」と言ってくれました。お隣の子が「元先生やねんから当たり前やん。」と突っ込んでいましたが、ほめてもらえて感激。子どもたちから元気をもらいました。今日の学びを今後の議員活動に活かしていきます。ありがとうございました。

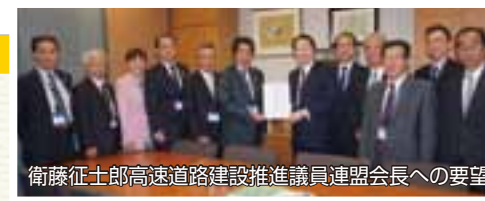


10/24 10/25

国会への要請行動（東京）

「全国高速自動車道市議会協議会」

現在私は副会長を務めていますので、役員の皆さまとともに、国土交通省と議員会館へ実行運動に行ってきました。国土交通省では政務官や事務次官、国会では加藤勝信自民党総務会長などに面会。全国の高速度自動車道の早期整備を強く要望しました。



衛藤征士郎高速道路建設推進議員連盟会長への要望

11/10

宝塚市議会「議会報告会」

今回の報告会は東公民館で開催しました。9月議会の報告の後、参加者の皆さまからの質問や意見交換の時間を多くとりました。多岐にわたるご意見をいただき、ありがとうございました。このご意見を市政に活かせるような仕組みをつくっていくことが今後の議会改革の課題です。



山本駅周辺でのチラシ配り

11/16

宝塚市総合防災訓練

避難所開設訓練と救難救助訓練にあわせて議会も「宝塚市議会危機対策支援本部会議」を設置。宝塚市災害対策本部と連携・協力しながら救援活動を支援していくものとしています。



宝塚市立病院の明石先生、谷本さんと

11/29 11/30

摩文仁の丘で平和を祈る （沖縄県糸満市摩文仁丘平和祈念公園）

1、「のじぎくの塔」慰霊祭

「のじぎくの塔」は、沖縄戦での兵庫県出身戦没者の慰霊塔です。3073柱の戦没者が眠っています。

2、「島守の塔」慰霊祭

「島守の塔」は沖縄戦で殉職された兵庫県出身の沖縄県知事・島田叡さんをはじめ、沖縄県職員を慰霊するため建立されました。沖縄県庁職員469柱がここに眠っています。慰霊祭には、兵庫県からは遺族会の方々、副知事、県議会議員、沖縄県からは遺族会連合、沖縄県議会議長など出席。私は兵庫県市議会議長会の代表として出席しました。

平和祈念資料館や摩文仁の丘の20万人の名前の石碑を見て、胸が潰れそうになりました。戦争は二度と起こしてはなりません。「平和を守る」決意を新たにしました。「オキナワ」から学んだことは忘れません。



10/21

つだ加代子さん当選!

川西市議会議員選挙で「つだ加代子」さんが圧倒的な強さで当選しました。みんなの力強い心合わせが実った選挙戦でした。



10月14日出発式 兵庫県民主教育政治連盟の仲間が集まりました。

11/10 11/11

ひょうご教育フェスティバル (三木市立三木東中学校・三木小学校)

「ジェンダー平等教育」分科会

LGBT理解&支援の授業研究が各学校や地域リポーターから発表され、熱心な対話や討論がなされました。宝塚市からは学校リポートに加えて、大山穰さんが地域リポーターとして参加し、当事者としての権利擁護の取り組みを発表してくださいました。これからも私の教え子である穰さんと一緒にLGBT理解&支援を広げていきます。

全国教育研究集会に選出された実践は、学校に行けなかった中学2年生の男子生徒が教職員3人に心を開き、中学3年生から女子の制服で登校し女子生徒として卒業、制服のない高校を選んで進学した報告でした。共同研究者として参加した私も「現場から学べた」よい機会でした。



11/24

逆瀬川駅での朝活動

十数年振りに末広小学校時代の教え子・理絵ちゃんに、偶然出会いました。私が担任だったのは三十年以上前のこと。東京在住ですが、お父様の法事のため宝塚に帰省したばかりだったそうです。駅活動していて良かったと思えた瞬間でした。これからも教え子に恥ずかしくない生き方をしたいです。



11/24

仲間とともに

同じ立憲民主党の仲間としてともにたたかう「川口じゅん」さん。



風のこころ

私の議員生活も4期目の締めくくりを迎えました。いつも温かく見守っていただきありがとうございます。この間ずっと心がけてきたことは、「自分の意見・主張をもつ」、そのうえで「多様な意見に耳を傾けて冷静に議論する」ということです。

これからも付和雷同せず、無理な押し付けもせず、合意形成までこぎつけていく力量をつけたいと思っています。